Ｍａｅｂａｓｈｉ　Ｉｎｓｔｉｔｕｔｅ　ｏｆ　Ｔｅｃｈｎｏｌｏｇｙ

前橋工科大学

２０２７年度

学生募集要項

【一　般　選　抜】

前 期 日 程

公 立 大 学 中 期 日 程

〒３７１－０８１６
群馬県前橋市上佐鳥町４６０番地１
前橋工科大学　学務課入試広報係
ＴＥＬ　０２７－２６５－０１１１（代表）
　　０２７－２６５－７３６１（学務課入試広報係）
ＦＡＸ　０２７－２６５－３８３７
E-Mail nyushi@maebashi-it.ac.jp

目　次

前橋工科大学工学部の教育ポリシー 1
前橋工科大学工学部 各学群の教育ポリシー 2
前橋工科大学一般選抜日程 4
Ⅰ　試験概要 5
　Ⅰ－１．募集人員
　Ⅰ－２．出願資格
　Ⅰ－３．選抜方法
　Ⅰ－４．学力試験等の配点
　Ⅰ－５．複数受験
Ⅱ　試験会場及び試験日時 8
　Ⅱ－１．前期日程
　Ⅱ－２．公立大学中期日程
Ⅲ　出願・手順 8
　Ⅲ－１．出願方法
　Ⅲ－２．出願書類
　Ⅲ－３．出願先（宛名票記載済）
　Ⅲ－４．入学検定料
　Ⅲ－５．出願手続上の注意事項
　Ⅲ－６．受験票
　Ⅲ－７．障がい等への配慮を必要とする入学志願者との事前相談
Ⅳ　受験上の注意事項 13
　Ⅳ－１．試験場への入退場
　Ⅳ－２．個人的事情による遅刻者の扱い
　Ⅳ－３．公共交通機関の遅延による遅刻者の扱い
　Ⅳ－４．所持品
　Ⅳ－５．受験心得
　Ⅳ－６．その他
Ⅴ　合格発表 15
　Ⅴ－１．発表日時
　Ⅴ－２．発表方法
　Ⅴ－３．追加合格等
　Ⅴ－４．情報開示
Ⅵ　入学手続 16
　Ⅵ－１．入学手続
　Ⅵ－２．入学に係る経費
Ⅶ　その他 18
　Ⅶ－１．個人情報の取扱い
　Ⅶ－２．ノート型パソコンの必携化について
試験当日の所持品チェックリスト 20
各試験会場の案内図 21

前橋工科大学工学部の教育ポリシー

○　前橋工科大学の三つのポリシー（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）

本学は、建築・都市・環境工学群、情報・生命工学群の２学群から構成される、工学部単科大学である。大学として、入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の３ポリシーを定めている。多様な特色をもつ２学群では、それにしたがい、学群の理念を実現するため、さらに学群ごとに三つのポリシーが定められている。

●　入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

前橋工科大学の理念、教育の目標を理解し、以下の能力、意欲を持つ人の入学を希望します。

・教育課程編成・実施の方針をもとに学び、成長するために必要な、高校課程の基礎的な学力を備えている人
・工学に関心を持ち、みずから考え、判断する力を育み、何事にも積極的に挑戦しようと考えている人
・発想力、洞察力、コミュニケーション力をみがくため、持続力をもって学ぼうとする人
・対話によって気づきを共有することが、学びを深めるために大切だと認識する人

●　教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

・卒業認定・学位授与の方針を達成するために必要な、教養基礎科目、専門教育科目を学修する
・工学教育を特徴づける実験・実習・演習をとおして、課題の解決に必要な知識と方法を修得し、その結果を論理的に発表する力を身に付ける
・本学での学修に加え、インターンシップなどの学外活動をとおした実社会との交流も促進し、表現力、協調性、倫理性を涵養する

●　卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

・本学がめざす自然と人との共生、持続可能な循環型社会の構築に寄与するための幅広い基礎的な学力、工学の知識と技能を修得し、判断力と実行力を有している
・自ら課題を見いだすことができ、解決に主体的に取り組み、その成果を発表する能力を備えている
・他者との協働に参画し得る社会性を有し、専門技術者として果たすべき使命と役割を理解し、倫理観や責任感を身に付けている

建築・都市・環境工学群の教育ポリシー

「入学者受入方針」（アドミッション・ポリシー）

・求める学生像

身のまわりのアイテム、建築物、橋のような公共構造物と、それらとふれあう場としての生活空間・情報空間について、工学的にデザインする技術者の育成を目指します。日ごろ目にするものやその環境が学びの対象です。持続的社会の構築を目指してどのように‘もの’や‘空間’と向き合い、環境を整えるべきか、工学を手掛かりに考えたい人の入学を希望します。

・評価の観点

広い視野と洞察力、独創的な発想力と問題解決能力、コミュニケーション力などの基盤となる数学・理科・国語・英語、特に数学・理科の基礎的学力を評価します。また学びを深めようとする意欲を確認します。高等学校等での習得すべき科目は、数学では数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）・化学（化学基礎を含む）、国語、英語及び情報Ⅰで、入学時までにこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）

学群のディプロマ・ポリシーを達成するために、教養基礎科目、専門教育科目（工学基礎科目、学群共通科目、プログラム専門科目）に分けて、次のとおり年次進行で学修する。

初年次は、幅広い学友とともに教養基礎科目を学び、豊かな人間性を身に付け、文理融合型学修を実践すると同時に、工学基礎科目及び学群共通科目の履修により、工学技術者としての最低限必要な基礎学力を身に付ける。

２年次においては、学群共通科目の履修をとおして学群の関係する広範な学術分野を横断的に理解できる能力を開発するとともに、それぞれの教育プログラムの基礎的な科目を学び、学生ひとりひとりが基礎知識と自己表現力・提案力を身に付け、自らの志向、能力、個性を見いだしていく。

３年次においては、それぞれの教育プログラムの専門科目を中心に学び、専門的知識を獲得し、それを応用する力を養う。

４年次においては、専任教員の研究室に所属し、専門技術者に必要な知識、知恵を修得しつつ、卒業研究に取り組むことで、論文のまとめ方、プレゼンテーションの方法、討議の仕方を学び、大学教育の総仕上げを行う。

「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）

所定の年限在学し、所定の授業科目を履修して、卒業に必要な１２６単位以上を修得し、次の能力を有すると認められた者に学士（工学）の学位を授与する。

自ら問題を発見し、論理的に分析し、解決する能力を身に付け、そしてその結果を、市民を含めた第三者に対して、分かりやすく伝達することができる。

学んだ技術や知識をもとに、状況に応じて柔軟に対応できる応用力を身に付けている。

人間の生活の豊かさ、人間の健康、地球の環境のために、必要な情報や基礎知識を抽出して活用しつつ、問題を創造的に解決することができる。

自然と人との共生や持続可能な循環型社会の構築に貢献するために、様々な専門職業人と協働するコミュニケーション能力を身に付けている。

人類の持続可能な発展を顧慮しつつ、人間として備えるべき倫理観を持ち、自らの仕事が及ぼす社会的責任を理解している。

情報・生命工学群の教育ポリシー

「入学者受入方針」（アドミッション・ポリシー）

・求める学生像

情報科学・生命科学・ロボット技術と、微生物から人間まで様々な生きもののもつ優れた機能の利用によって、よりよい社会をつくる技術者の育成を目指します。データサイエンス及びライフサイエンスがおもな学びの対象です。最先端の技術を持続的社会の形成に役立て、人々の暮らしを豊かにする方法を考えたい人の入学を希望します。

・評価の観点

広い視野を持って、自然科学・工学の知識を収集・理解し、問題を発見、分析、解決するための基盤となる数学・理科・国語・英語、特に数学・理科の基礎的学力を評価します。また学びを深めようとする意欲を確認します。高等学校等での習得すべき科目は、数学では数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ａ・Ｂ・Ｃ（あるいは同等の科目）、理科では物理（物理基礎を含む）・化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）（あるいは同等の科目）、国語、英語及び情報Ⅰで、入学時までにこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）

学群のディプロマ・ポリシーを達成するために、教養基礎科目、専門教育科目（工学基礎科目、学群共通科目、プログラム専門科目）に分けて、次のとおり年次進行で学修する。

初年次は、幅広い学友とともに教養基礎科目を学び、豊かな人間性を身に付け、文理融合型学修を実践すると同時に、工学基礎科目及び学群共通科目の履修により、工学技術者としての最低限必要な基礎学力を身に付ける。

２年次においては、学群共通科目及びそれぞれの教育プログラムの基礎的な科目を履修し、学生ひとりひとりが技術者としての基本的な素養とともに情報工学及び生命工学に関する基礎知識を身に付け、自らの志向、能力、個性を見いだしていく。

３年次においては、それぞれの教育プログラムの専門科目を中心に学び、専門的知識を獲得し、それを応用する力を養う。

４年次においては、専任教員の研究室に所属し、専門技術者に必要な知識、知恵を修得しつつ、卒業研究に取り組むことで、論文のまとめ方、プレゼンテーションの方法、討議の仕方を学び、大学教育の総仕上げを行う。

「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）

所定の年限在学し、所定の授業科目を履修して、卒業に必要な１２６単位以上を修得し、次の能力を有すると認められた者に学士（工学）の学位を授与する。

自ら問題を発見し、論理的に分析し、解決する能力を身に付け、そしてその結果を、市民を含めた第三者に対して、分かりやすく伝達することができる。

学んだ技術や知識をもとに、状況に応じて柔軟に対応できる応用力を身に付けている。

人間の生活の豊かさ、人間の健康、地球の環境のために、必要な情報や基礎知識を抽出して活用しつつ、問題を創造的に解決することができる。

自然と人との共生や持続可能な循環型社会の構築に貢献するために、様々な専門職業人と協働するコミュニケーション能力を身に付けている。

人類の持続可能な発展を顧慮しつつ、人間として備えるべき倫理観を持ち、自らの仕事が及ぼす社会的責任を理解している。

前橋工科大学一般選抜日程

大学入学共通テスト
2027年1月16日（土） ～ 1月17日（日）

前期日程	公立大学中期日程
出願期間　インターネット出願 2027年1月25日（月） ～ 2月3日（水）消印有効 （注意）インターネットでの登録後、入学検定料の支払と書類の郵送が必要です。	
	第１段階選抜合格発表 2027年2月18日（木）
個別学力検査等（学力検査） 2027年2月25日（木）	個別学力検査等（小論文） 2027年3月9日（火）
合格発表 2027年3月6日（土）	合格発表 2027年3月21日（日）
入学手続期間 2027年3月7日（日） ～ 2027年3月15日（月）	入学手続期間 2027年3月22日（月） ～ 2027年3月27日（土）

Ⅰ　試験概要

Ⅰ－１．募集人員

学部	学群※1	プログラム	募集人員※2,3	
			前期日程	公立大学中期日程
工学部	建築・都市・環境工学群	土木・環境	（２４人）	（６人）
		建築都市	（３０人）	（８人）
		工学デザイン	（２０人）	（４人）
	学群計		７４人	１８人
	情報・生命工学群	情報システム	（２４人）	（６人）
		医工学	（２４人）	（６人）
		生物応用	（２４人）	（６人）
	学群計		７２人	１８人

一般選抜の「前期日程」及び「公立大学中期日程」は、分離分割方式の区分によります。

※１　学群とは、学科に相当します(以下同じ。)。

※２　学校推薦型選抜及び総合型選抜の入学手続者がそれぞれの募集人員の合計に満たない場合、その欠員分を一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

※３　各教育プログラムの人数は、あくまでも受入人員の目安であり、募集人員は各学群に設定する人数です。

Ⅰ－２．出願資格

令和９年度大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当するもの

（１）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び２０２７年３月３１日までに卒業見込みの者

（２）特別支援学校の高等部又は高等専門学校の３年次を修了した者及び２０２７年３月３１日までに修了見込みの者

（３）学校教育法施行規則第１５０条第１号から第４号まで又は第６号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び２０２７年３月３１日までにこれに該当する見込みの者

（４）高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者及び２０２７年３月３１日までに合格見込みの者で、２０２７年３月３１日までに満１８歳に達するもの

（５）学校教育法施行規則第１５０条第７号の規定により、本学が個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、２０２７年３月３１日までに満１８歳に達するもの（個別の入学資格審査において、出願資格を認定された者は、本学のみに有効なものです。）。なお、この項目に係る申請期間は、終了しました。

Ⅰ－３．選抜方法

入学者の選抜は、**大学入学共通テスト、個別学力検査等の成績及び主体性の評価（前期日程のみ）**を総合して行います。

（１）大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

区分	学群	教　科	科　　目	教科・科目数
前期日程・公立大学中期日程（共通）	建築・都市・環境工学群	国　語 数　学 理　科 外国語 情　報	「国語」 「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「物理」、「化学」 「英語（リーディング・リスニング）」 「情報Ⅰ」	５教科 ７科目
	情報・生命工学群	国　語 数　学 理　科 外国語 情　報	「国語」 「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「物理」、「化学」、「生物」から２科目 「英語（リーディング・リスニング）」 「情報Ⅰ」	５教科 ７科目

【大学入学共通テストの利用教科・科目についての注意事項】

（１）指定された教科・科目を受験していない場合は、「失格」とします。

（２）国語は、「近代以降の文章」のみ利用します。

（３）理科の科目は、建築・都市・環境工学群では「物理」、「化学」の２科目とし、情報・生命工学群では「物理」、「化学」、「生物」の中から２科目選択とします。

（４）外国語は、「英語（リーディング・リスニング）」を利用します。また、リーディングの成績は１５０点満点に、リスニングの成績は５０点満点になるよう換算して利用します。

なお、リスニングを免除された場合は、リーディングの成績を２００点満点になるよう換算して利用します。

（５）情報Ⅰの得点「１００点」を「５０点」に換算します。

（６）過年度の大学入学共通テストの成績は、利用しません。

（２）２段階選抜（公立大学中期日程のみ）

入学志願者数が募集人員に対して次の倍率を上回り、個別学力検査等を適切に実施することが困難な場合は、大学入学共通テストの成績等により第１段階選抜合格者を決定します。ただし、各科目の成績は、換算後の点数を利用します。

学　群	倍　率	
	前期日程	公立大学中期日程
建築・都市・環境工学群	－	約２５倍
情報・生命工学群	－	約２５倍

（３）第１段階選抜合格者発表

パソコン又はスマートフォンによりインターネットで合否を照会することができます。

「Ⅴ－２．発表方法」（１５頁）に記載のシステムの URL 又は二次元バーコードからアクセスし、画面の指示に従って操作してください。照会には、「受験番号」と「生年月日」が必要です。

また、不合格者には不合格通知及び入学検定料の一部を返還するための手続書類を送付しますので、所定の方法により３月５日（金）までに提出してください。

システム利用期間：２０２７年２月１８日（木）１３時００分～２月２２日（月）２３時５９分

（4）個別学力検査等の実施教科・科目等

区分	学　群	教科	科　　目
前期日程	建築・都市・環境工学群	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」
	情報・生命工学群		
公立大学中期日程	建築・都市・環境工学群	その他	「小論文」
	情報・生命工学群		

Ⅰ－4．学力試験等の配点

（1）前期日程

学　群	学力試験	国語	数学	理科	外国語	情報	主体性評価(注)	合計
建築・都市・環境工学群	大学入学共通テスト	110	200	200	200	50	—	760
	個別学力検査等	—	300	—	—	—	20	320
	計	110	500	200	200	50	20	1080
情報・生命工学群	大学入学共通テスト	110	200	200	200	50	—	760
	個別学力検査等	—	300	—	—	—	20	320
	計	110	500	200	200	50	20	1080

（注）主体性評価は、９頁に記述する「J-Bridge System」により入力していただきます。

（2）公立大学中期日程

学　群	学力試験	国語	数学	理科	外国語	情報	小論文	合計
建築・都市・環境工学群	大学入学共通テスト	110	300	300	200	50	—	960
	個別学力検査等	—	—	—	—	—	100	100
	計	110	300	300	200	50	100	1060
情報・生命工学群	大学入学共通テスト	110	300	300	200	50	—	960
	個別学力検査等	—	—	—	—	—	100	100
	計	110	300	300	200	50	100	1060

Ⅰ－5．複数受験

（1）本学の前期日程及び公立大学中期日程の両日程に出願することができます。

（2）本学の前期日程と他の国公立大学・学部（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。） の前期日程との併願及び本学の公立大学中期日程と他の公立大学の公立大学中期日程との併願は、できません。

（3）本学の学校推薦型選抜若しくは総合型選抜又は他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜若しくは総合型選抜に合格し、入学手続を行った者は、本学の個別学力検査等に出願しても、受験することができません。たとえ受験しても無効となります。ただし、学校推薦型選抜又は総合型選抜の入学辞退について、当該大学の許可を得た場合は、この限りではありません。

Ⅱ　試験会場及び試験日時

・試験室入室開始時間
　前橋会場は８時３０分、東京会場及び名古屋会場は９時００分を予定しています。
・前橋会場のみ入室開始までの控室があります。
・試験室等は、当日に各会場の受付でお知らせします。

Ⅱ－１．前期日程

○　試験会場：前橋試験会場　　前橋工科大学
　　〔群馬県前橋市上佐鳥町４６０番地１、ＴＥＬ０２７－２６５－０１１１（代表)〕
　　東京試験会場　　河合塾　池袋校西館〔東京都豊島区西池袋１丁目３－１２〕
　　名古屋試験会場　河合塾　名駅校　　〔愛知県名古屋市中村区椿町１―１２〕
　※東京試験会場及び名古屋試験会場の緊急時連絡先は、前橋工科大学となります。
　※東京試験会場及び名古屋試験会場の志願者数が受入定員を超えた場合は、前橋試験会場で受験していただくことになります。

○　試験日　：２０２７年2月２５日（木）

<table>
<tr><td>時　間
学　群</td><td>１０：００～</td><td></td><td>１２：００</td></tr>
<tr><td>建築・都市・環境工学群</td><td rowspan="2">諸注意</td><td rowspan="2">数　　学</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>情報・生命工学群</td></tr>
</table>

Ⅱ－２．公立大学中期日程

○　試験会場：前橋工科大学
　　〔群馬県前橋市上佐鳥町４６０番地１、TEL ０２７－２６５－０１１１（代表)〕

○　試験日　：２０２７年3月９日（火）

<table>
<tr><td>時　間
学　群</td><td>１０：００～</td><td></td><td>１２：００</td></tr>
<tr><td>建築・都市・環境工学群</td><td rowspan="2">諸注意</td><td rowspan="2">小　論　文</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>情報・生命工学群</td></tr>
</table>

Ⅲ　出願・手順

Ⅲ－１．出願方法

出願は、インターネットを用いて、次の手順で行います。詳細は、本学出願サイトに記載の「インターネット出願利用手順」等をご覧ください。

（１）事前準備
・インターネットに接続されたパソコン又はタブレット、プリンター、メールアドレス（受験終了まで変更や削除の可能性がなく、日常的に確認しやすいもの）及び顔写真データ
・市販の角形２号封筒、大学入学共通テスト受験票、大学入学共通テスト成績請求票、調査書等

●顔写真データについて
規格を満たす写真であれば、写真店等で撮影したものでなくても構いませんが、アプリ等で加工・修正を施したものは使用できません。写真プリントの添付や送付は、必要ありません。
・カラー・白黒は、問いません。
・出願前３か月以内に撮影した受験生本人の写真であること。
・ピントが合っていて、鮮明であること。
・画像に加工を施していないこと。
・受験生本人のみが写っているものであること。
・目元輪郭を隠していないこと。
・正面向き、上半身（胸から上、顔がはっきり分かるもの)、無帽、無背景であること（顔に影がないもの)。

・ファイルサイズ等
ファイル形式：JPEG、PNG　ファイルサイズ：4MB 以内
縦：320 ピクセル以上、横：240 ピクセル以上
・顔写真データは、合格した場合、学生証の写真として用いるので、私服での撮影を推奨します。

（２）インターネット出願サイトにアクセス（次のいずれか）
・インターネット出願サイト → https://e-apply.jp/e/mit/
・本学ホームページ（https://www.maebashi-it.ac.jp/）にある、インターネット出願のバナーをクリック

（３）マイページの登録
画面の手順に従って、必要事項を入力して、マイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、「（４）出願内容の登録」に進んでください。

（４）出願内容の登録
画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。
入学検定料のお支払前に出願内容の誤りに気付いた場合は、入学検定料を納入せずに、始めから登録をやり直してください。申込登録完了後の出願内容の訂正はできませんので、注意してください。
申込登録後、受付番号が画面表示されます。受付番号は、その後のＷＥＢ出願システムへのログイン時や次の志望理由等を入力するシステム登録時（前期日程のみ）に必要となりますので、必ずメモを取ってください。

受付番号（１２桁）メモ											

（５）成績請求情報の手続きについて
「ＷＥＢ方式」により、大学入試センターに大学入学共通テストの試験成績を請求します。共通テスト出願サイトで「申込番号」を確認し、本学出願サイトに必要事項を入力してください。
詳細は、大学入学共通テスト受験案内（５４頁）を確認してください。
【手続きの流れ】

①共通テスト出願サイトから「申込番号」を確認	→	②志望大学の出願サイトでの入力	→	②で入力された「申込番号」等により、志望大学の出願サイトと共通テスト出願サイトがＷｅｂ上で連携され、志望大学が成績請求情報を入手
共通テスト出願サイトのマイページ上の「出願内容確認・訂正」から「申込番号」を確認		志望大学の出願サイト上で「申込番号」等を入力		

（６）志望理由・高校時代の活動のふりかえりに関する説明の登録（前期日程のみ）
主体性評価を目的として、志望理由・高校時代の活動のふりかえりに関する説明を「J-Bridge System」から登録してください。「（４）出願内容の登録」の完了後、J-Bridge System 連携を行うボタンからインターネット出願サイトと連動した専用サイト「J-Bridge System」にアクセスし、所定の項目を入力してください。提出するボタンをクリックすると、申請登録が完了となります。**２０点の配点がありますので、必ず入力してください。**
なお、申請登録が完了すると入力・修正・削除ができなくなりますので、注意してください。
※この資料に限り、紙媒体での提出は、不要です。
【入力期間】２０２７年１月２５日（月）９時００分～２０２７年２月３日（水）１７時００分

（７）検定料の支払
クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア又は Pay-easy 対応銀行 ATM で支払が可能です。使用可能なクレジットカードや取扱金融機関については、「Ⅲ-４（２）支払方法」（１１頁）を参照してください。支払期間は、出願内容の登録を行った日から起算して４日間です。

（８）必要書類の印刷
出願内容の登録を行い、検定料の支払後、ダウンロードできる書類を全て印刷してください。
※白色のＡ４用紙に片面印刷（カラー・白黒は、問いません。）。万が一、登録情報に誤りがある場合は、二重線で消して、赤字で訂正してください。なお、登録後の入試区分、志望学群

及びプログラムの変更は、できません。

（９）出願書類の準備

・出願書類の確認

必要な出願書類は、「Ⅲ-２.出願書類」（下記）を確認してください。出願書類に不備がある場合は、受理しません。

・郵送の準備

角形２号封筒に宛名票を貼付の上、宛名票のチェックリストにチェックを入れ、志願票・写真票と出願書類を封入してください。万が一、郵送中に宛名票が破損したときに備え、封筒の裏面に住所・氏名を記載してください。

※本学の一般選抜【前期日程】及び【公立大学中期日程】の両方に出願する場合は、入試日程ごとに封筒を分けて、それぞれに志願票と出願書類を封入してください。

（１０）郵送

出願期間内に到着するよう、郵便局の窓口から速達の簡易書留で郵送してください。

【書類送付期限】２０２７年２月３日（水）消印有効

（１１）受験票の印刷

受験票の印刷が可能になったら、登録しているメールアドレスとWEB出願システムのログイン後の画面に通知します。通知を受けられましたら、WEB出願システムにログインし、受験票PDFファイルをダウンロードして、白色のＡ４用紙に片面印刷（カラー・白黒は、問いません。）してください。

≪注意事項≫

・受験票は、本学からは郵送しません。
・受験票は、試験日以降、再ダウンロードすることができなくなります。
・印刷した受験票は、試験当日に必ず持参してください。
・試験日の７日前までに受験票の印刷に関する通知が届かない場合は、本学学務課入試広報係（０２７－２６５－７３６１）まで問い合わせてください。

Ⅲ-２．出願書類

（１）出願書類と作成要領等

出願書類	作　成　要　領
志願票・写真票及び宛名票	WEB出願システムで必要事項を入力し、入学検定料の納付後、PDFファイルをダウンロードして、白色のＡ４用紙に片面印刷（カラー・白黒は、問いません。）してください。
調査書（＊）	次の①～⑤のいずれかを提出してください。 ①出身学校長が文部科学省所定の様式により作成し、厳封したものを提出してください。 ②高等専門学校第３学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者の調査書については、文部科学省所定の様式に準じて作成したものを提出してください。 ③高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む。）合格者は、調査書に代えて「合格証明書」及び「合格成績証明書」を提出してください。成績証明書中、免除科目のある者は、当該科目を履修した学校長が作成した成績証明書も併せて提出してください。 ④外国において学校教育における１２年の課程を修了した者若しくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、フランス共和国のバカロレア資格取得者、アビトゥーア資格取得者又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者については、当該試験等の成績証明書を提出してください。 ⑤廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書や成績通信簿の提出により代えることができます。被災等により、調査書・卒業証明書・成績通信簿等が提出できない場合は、本学まで連絡してください。 ※調査書等は、上記の③を除き、２０２６年４月１日以降のものを提出してください。

出願書類	作　　成　　要　　領
志望理由等に関する説明（前期日程のみ）	「J-Bridge System」にアクセスし、「志望理由等に関する説明」として次の項目を入力してください。 「主体性評価」として最大２０点の配点（「Ⅰ-４．学力試験等の配点」（７頁））となります。 ＜入力項目＞ ・本学への志望理由（１５０字以内） ・これまでにグループで何かを成し遂げるために行った活動を一つ挙げ、自分が果たした役割を記述（１５０字以内） ただし、感染症対策等の諸般の事情により、高校でのグループ活動が制限されていた場合は、個人的な活動でも構いません。
大学入学共通テスト受験票	共通テスト出願サイトのマイページから取得し、白色のＡ４用紙に印刷（カラー・白黒は、問いません。）してください。又は、そのコピーでも構いません。
前橋市の住民票の写し	「前橋市内居住者」（Ⅵ-２.入学に係る経費（１８頁））に該当する者は、入学金の減免の対象となりますので、提出してください。配偶者又は１親等の親族が前橋市内居住者の場合は、本人との関係性が分かる書類を併せて提出してください。
出願資格認定書	出願資格審査において、出願資格認定書の交付を受けた者は、写しを添付してください。

＊　調査書に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。

（２）提出方法

角形２号封筒にＷＥＢ出願システムからダウンロードした「宛名票」を貼付し、出願書類を封入してください。本学の一般選抜【前期日程】及び【公立大学中期日程】の両日程に出願する場合は、日程別に封筒を用意し、それぞれに宛名票を貼付してください。なお、宛名票が破損したときに備え、封筒の裏面に出願者の住所・氏名を記入してください。

上記の準備が整った後、速達の簡易書留で「Ⅲ-３.出願先」に郵送してください。出願書類に不備がある場合、又は書類の送付期限を過ぎて到着した場合は、受理しませんので、十分注意してください。

なお、速達の簡易書留以外で郵送した場合、事故があっても本学ではその責任は負いません。また、出願書類の受領確認の問合せには、お答えしません。日本郵便株式会社ホームページの追跡サービスにより確認してください。

Ⅲ-３．出願先（宛名票記載済）

〒３７１-０８１６
群馬県前橋市上佐鳥町４６０番地１
前橋工科大学　学務課入試広報係（１号館１階事務局内）
TEL：０２７－２６５－７３６１（学務課入試広報係）

Ⅲ-４．入学検定料

（１）**入学検定料　１７，０００円**

・支払期間：２０２７年1月２５日（月）～2月３日（水）
・前期日程及び公立大学中期日程の両日程に出願する場合は、日程別に入学検定料を納入してください。
・入試区分、志望学群、入試会場の誤りによる入学検定料の返還はできません。
・入学検定料の支払時は、別途、手数料がかかります。

（２）支払方法

ＷＥＢ出願システムからクレジットカードによる決済、コンビニエンスストアからの納入又はPay-easy利用の決済のいずれかを利用し、支払期間内に支払ってください。

なお、入学検定料の支払が完了しないと、出願書類の印刷をすることができません。
使用可能なクレジットカード、取扱金融機関その他の注意事項は、次のとおりです。

<table>
<tr><th>支払方法／取扱金融機関</th><th>支払期間</th><th>その他</th></tr>
<tr><td>クレジットカード
・VISA
・Master Card
・JCB
・AMERICAN EXPRESS
・MUFG カード
・DC カード
・UFJ カード
・NICOS カード</td><td rowspan="3">支払期間は、出願内容の登録を行った日から起算して４日間です（出願の締切りが４日より短い場合、締切りが優先されます。）。</td><td rowspan="2">受験生本人の名義でなくても構いません。</td></tr>
<tr><td>Pay-easy 対応銀行ＡＴＭ※
（ゆうちょ銀行も可）</td></tr>
<tr><td>ＷＥＢ出願システム経由の Pay-easy
ネットバンキング利用可能な金融機関</td></tr>
<tr><td>コンビニエンスストア
・セブンイレブン
・ローソン
・ファミリーマート
・ミニストップ
・デイリーヤマザキ
・セイコーマート</td><td></td><td></td></tr>
</table>

※　対象金融機関は、Pay-easy のサイトで確認してください。

（３）注意事項

一度納入された入学検定料は、次の①～⑤のいずれかに該当する場合を除き、どのような理由があっても返還しません。

①入学検定料を二重に納入した場合
②入学検定料の納入後、出願手続をしなかった場合
③出願に必要な書類を提出したが、出願が受理されなかった場合
④出願無資格者であることが判明した場合
⑤公立大学中期日程の第１段階選抜で不合格となった場合

※上記①～④の場合は、検定料から手数料を差し引いた金額を返還します。納入した検定料の対象となる試験の実施日までに、本学学務課入試広報係に問い合わせてください（「Ⅲ－３．出願先」（１１頁））。

※上記⑤の場合は、本人の申出により、第２次選考（個別学力検査）に係る入学検定料１３，０００円を返還します。 第１段階選抜結果の発表の際、該当者に通知しますので、所定の方法により２０２７年3月６日（土）までに手続を行ってください。

Ⅲ－５．出願手続上の注意事項

（１）一度受付をした出願書類は、どのような理由があっても返還しません。
（２）出願書類に記入漏れその他の不備がある場合は、受理しませんので、出願の際には十分確認してください。故意に虚偽の出願資格を登録した場合は、不正行為となります。
（３）出願受付後の出願事項の変更は、認めません。ただし、氏名、住所、電話番号等に変更が生じた場合は、変更を証明する書類を提出して、手続を行っていただく必要がありますので、本学学務課入試広報係まで連絡してください（０２７－２６５－７３６１）。
（４）募集要項の内容に修正等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、出願書類の作成前及び送付前にホームページを再度確認してください。
（５）試験会場は、受験票で指定していますので、指定された会場で受験してください。指定された

試験会場以外では、いかなる理由があっても受験できません。また、試験会場の受入定員を超えた場合は、試験会場を変更することがあります。この場合、受験を取りやめても、入学検定料は返還しません。

（6）国公立大学の前期日程試験に合格し、２０２７年3月１５日（月）までに入学手続を行った者は、他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の公立大学中期日程又は後期日程試験を受験しても、その合格者にはなりません。

（7）本学の入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学への入学手続を行うことはできません。また、他の国公立大学の入学手続を完了した者は、本学への入学手続を行うことはできません。追加合格者についても、同様です。ただし、公立大学中期日程の合格者で入学手続を完了した者が、他大学の前期日程の追試験を受験し、合格者となった場合を除きます。

（8）大学入学共通テスト受験票・写真票・成績請求票の再発行を受けた場合は、当初発行の受験票・写真票・成績請求票は、無効となりますので、使用しないでください。必ず、再発行されたものを使用してください。なお、成績請求票について、該当しないものやコピーしたものを使用した場合は、受理できませんので、注意してください。

（9）入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が判明した場合は、入学を取り消すことがあります。

Ⅲ-６．受験票

（1）受験票は、受験生本人がＷＥＢ出願システムからダウンロードし、印刷してください。本学からの受験票の送付は、行いません。

（2）受験票は、ＷＥＢ出願システムを通じて、２０２７年2月１０日（水）１７：００を目途に印刷可能となる予定です。試験前７日前になっても受験票の印刷に関する通知が届かない場合は、お問い合わせください。

（3）受験票を各自、Ａ４サイズで印刷し、試験当日に持参してください。

（4）受験票は、試験日ごとに別ファイルになっています。間違いのないよう、確認して持参してください。

（5）受験票には、試験室、集合場所及び集合時間は、記載されていません。試験室は、試験日当日受付に掲示します。

（6）受験番号は、志願者数を示すものではありません。

（7）受験票は、試験日以降、再ダウンロードすることができなくなりますので、注意してください。

（8）万一、試験当日に受験票を忘れた場合は、受付時に申し出て、受験票の再発行手続を行ってください。

Ⅲ-７．障がい等への配慮を必要とする入学志願者との事前相談

障がい等のある方が本学への入学を志願する場合で、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるときは、次のとおり、出願前に必ず連絡し、相談してください。また、相談期限後に不慮の事故等により身体等に障がいを負うこととなった場合も、速やかに相談してください。

（1）相談期限

２０２６年１２月１日（火）まで

（2）相談方法

事前に本学学務課入試広報係まで電話連絡し、本学所定の相談申請書（住所・氏名・性別・連絡先・志望プログラム・障がいの状況・受験上、修学上特別な配慮を希望する事項・出身学校等で取られていた特別措置を明記してください。）、診断書等の必要書類を提出してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談を行います。

（3）連絡先・提出先

「Ⅲ-３．出願先」（１１頁）と同じ。

Ⅳ　受験上の注意事項

Ⅳ-１．試験場への入退場

（1）受験生は、前期日程及び公立大学中期日程の両日程ともに、９時３０分までに指定された試験室に入室し、着席してください。

（2）駐車場がありませんので、公共交通機関等を利用してください。なお、前橋試験会場につい

ては、試験当日にＪＲ前橋駅北口バス４番のりばから臨時バスを運行する予定です。具体的な発車時刻は、永井運輸株式会社のホームページで確認してください。公共交通をご利用の方は、帰りの運行時間等に注意してください。

（３）指定された試験場及び試験室以外では、いかなる理由があっても、受験はできません。

Ⅳ－２．個人的事情による遅刻者の扱い

試験開始後、**３０分以内**の遅刻に限り、受験を認めますが、試験時間の延長は、行いません。

Ⅳ－３．公共交通機関の遅延による遅刻者の扱い

（１）公共交通機関の大幅な遅延による遅刻の場合は、遅刻者に別室での受験を認めることがあります。この場合は、試験場の入口で係員に申し出てください。

（２）公共交通機関の大幅な遅延が生じ、試験当日多くの受験生に影響があると本学が判断した場合、試験の実施に支障を来さない範囲で、全体の試験開始時間を繰り下げることがあります。このことに伴う受験生の個人的な損害については、本学は、責任を負いません。

Ⅳ－４．所持品

（１）受験票：試験当日は、**「大学入学共通テストの受験票」と「本学の受験票」の両方**を必ず持参してください。本学の受験票は、**白色のＡ４用紙に片面で印刷（カラー・白黒は、問いません。）**してください。試験当日は、常に二つの受験票を携帯してください。また、受験票は、入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。

（２）腕時計：時計機能のみ備えているものを各自で持参してください。**試験室に時計はありません。また、時計の貸出しは、行いません。**

（３）筆記用具等：試験当日は、筆記用具等を必ず持参してください。詳細は、次のとおりです。

＜試験中に使用を認めるもの＞

・鉛筆（黒「ＨＢ」「Ｂ」）、シャープペンシル（黒「ＨＢ」「Ｂ」）、消しゴム
・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）
・時計（ただし、以下に掲げるものは不可：辞書や電卓などの機能を備えているものや、それらの機能の有無を判別しにくいもの・秒針音のするもの・大型のもの）
・目薬、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）

＜試験中に使用を認めないものの例＞

・携帯電話、スマートフォン、タブレット端末、ウェアラブル端末等の電子通信機器等
・携帯音楽プレーヤー等、音を発するもの
・時計やストップウォッチのアラーム機能や時報機能（これらの機能は、試験前に必ず解除してください。）
・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、翻訳機、電子辞書、電卓、そろばん
・ボールペン、赤ペン、色鉛筆、万年筆、色マーカーペン（蛍光ペン等）、付箋
・筆入れ（ペンケース）、耳せん

Ⅳ－５．受験心得

（１）試験時間中は、監督者の指示に従ってください。不正行為を行った者は、失格とします。

（２）受験票のほか、「試験中に使用を認めるもの」以外の所持品を机上に置くことは、できません。

（３）受験票は、試験時に試験監督に明示できるよう、受験票の１頁目が見えるように４つ折りし、机の上の受験番号ラベルの手前に置いてください。

（４）通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、アラーム機能を止めてから本体の電源を切り、かばんに入れ、身に付けないでください。机の上に置けないものは、かばん等に入れ、机の下に置いてください。試験時間中にかばん等の中で音などが発生し　た場合は、監督者が本人の了承を得ずに、かばん等を試験室外に持ち出し、試験場本部で当該　試験時間終了まで保管します。

（５）座布団、クッション、タオルひざ掛け、手袋（多汗症用を含む。）の使用を希望する場合は、試験開始前に挙手し、監督者の許可を得て使用してください。

（６）耳せんは、試験監督の指示等が聞き取れないことがあるので、使用できません。
（７）試験時間中に日常的な生活騒音等が発生した場合でも救済措置は、行いません。
（８）マスクを着用している場合は、顔写真照合の際、一時的にマスクを外していただくことがあります。
（９）公正な入学試験の実施を妨げるような行為があったと認められる場合、当該年度の本学における全ての入学試験において不合格とします。
（１０）試験時間中は、退出することはできません。試験時間中に体調不良、トイレ等により、やむを得ず退出を希望する場合は、挙手をして監督者に知らせ、その指示に従ってください。
ただし、受験を中断した場合でも、試験時間の延長は、認めません。
（１１）問題用紙及び解答用紙を配付する試験では、用紙に記載されている注意事項をよく読んでください。
（１２）試験室における受験生間の物品の貸借は、一切認めません。
（１３）本学における受験は私服でも構いません。

Ⅳ-６．その他

（1）試験当日に該当する試験を全科目受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。また、大学入学共通テストの指定した教科・科目の成績が大学入試センターから本学に提供されなかった場合は、合否判定の対象外となります。
（2）「Ⅳ 受験上の注意事項」（１３頁～１５頁）については、印刷して持参するなど、試験当日も確認できるようにしてください。
（3）本学は、宿泊施設の斡旋は行っていません。
（4）試験会場及びその周辺で合格電報、レタックス等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係がなく、トラブル等が生じても責任を負えませんので、注意してください。
（5）前橋試験会場は、試験日前日の午前に限り下見ができますが、建物内（試験室等）への立入りはできません。
（6）試験当日、学校保健安全法で出席の停止が求められているインフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症になり治癒していない者は、他の受験生等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。なお、これにより受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置や入学検定料の返還は行いませんので、試験当日の体調管理については、十分に注意してください。
（7）不測の事態等が生じ、試験実施が困難であると判断した場合は、試験を中止し、又は試験形態を変更することがあります。このことに伴う受験生の個人的な損害については、本学は、責任を負いません。
（8）試験の実施に関して変更等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、試験前に確認してください。
（9）本学のアドミッション・ポリシーを実現するために必要と認める範囲で、「入試過去問題活用宣言」参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。また、この場合は、問題の一部を改変することもあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

Ⅴ　合格発表

Ⅴ-１．発表日時

前　期　日　程：２０２７年3月６日（土）１３時００分
公立大学中期日程：２０２７年3月２１日（日）１０時００分

Ⅴ-２．発表方法

合格者には、合格通知書、入学関係書類等を速達で郵送し、正式通知とします。
（1）不合格者には、通知を行いません。
（2）電話等による合否に関する問合せには、一切応じません。
（3）合否照会システム
補助的手段として、パソコン、スマートフォンによりインターネットで合否を照会することができます。システムの利用期間内に次の URL 又は右上の二次元バーコードからアクセスし、画面の指示に従って操作してください。照会には、「受験番号」と「生年月日」が必要です。

【利用期間】
前期日程　　：２０２７年３月６日（土）１３時００分～３月９日（火）２３時５９分
公立大学中期日程：２０２７年３月２１日（日）１０時００分～３月２４日（水）２３時５９分
合否照会システム URL　→　https://www.gouhi.com/mit/

Ⅴ－３．追加合格等

２０２７年３月２７日（土）までに、入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、追加合格により欠員を補充します。追加合格者には、**２０２７年３月２８日（日）午前８時**から入学志願票に記載された志願者本人の「携帯電話（本人）」又は「現住所（電話番号）」に連絡します。連絡が取れない場合は、追加合格者の資格を失います。

追加合格者の入学手続は、本学が指定する入学手続書類を「Ⅵ－１（３）入学手続先」（１６頁）に持参して行っていただきます。入学手続日は、担当者が通知します。既に他の国公立大学の入学手続が完了した者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできません。

なお、追加合格により欠員を補充しても、入学手続完了者が入学定員に満たない場合、欠員補充第２次募集を行います。２０２７年４月１日以降に欠員補充第２次募集を行う場合は、本学のホームページ（https://www.maebashi-it.ac.jp/）に掲載します。

Ⅴ－４．情報開示

本学では、一般選抜【前期日程・公立大学中期日程】を受験し、不合格となった者のうち、希望者に対し、「入試情報開示請求書」に基づき、次のとおり情報を開示します。

（１）請求できる者
受験者本人に限ります（代理人請求は、認めません。）。

（２）開示内容
①一般選抜前期日程試験の個別学力検査の得点
②一般選抜公立大学中期日程試験の個別学力検査の得点
③大学入学共通テストの科目別得点のうち、合否判定に利用した科目を本学の配点に換算した得点

（３）請求方法
次の書類を同封の上、請求先に郵送してください。
①基本料金＋簡易書留分の返信用切手を貼付の送付先が明記された長形３号の返信用封筒
②「本学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」の原本
（両受験票は、結果通知書に同封し、返却します。）
③入試情報開示請求書
本学ホームページ（https://www.maebashi-it.ac.jp/）からダウンロードしてください。
本学の窓口でも入手できます。

（４）請求先
〒３７１－０８１６
群馬県前橋市上佐鳥町４６０番地１
前橋工科大学　学務課入試広報係

（５）開示請求受付期間
２０２７年４月１２日（月）～４月１６日（金）（受付期間内必着）

（６）通知
２０２７年５月２１日（金）を目途に発送します。

Ⅵ　入学手続

Ⅵ－１．入学手続

ＷＥＢ入学手続システムにより、必要事項を入力し、入学料を納入の上、手続書類の提出を入学手続期間内に完了してください。入学手続期間内に手続を完了しない場合は、入学資格を失います。詳細は、合格者に送られる「入学手続案内」を参照してください。

（１）入学手続期間・方法
＜前期日程試験の合格者＞
２０２７年３月７日（日）～３月１５日（月）
手続書類の提出は、「郵送」又は「持参」により行ってください。

郵送：速達の簡易書留とし、入学手続期間内必着
持参：土日祝日及び３月９日（火）（一般選抜公立大学中期日程試験日のため）を除く
９時００分～１２時３０分及び１３時３０分～１７時００分
注１：郵送又は持参のいずれの場合も、入学手続期間内に入学手続が完了しない場合は、入学辞退者として扱います。
注２：３月９日（火）は、一般選抜公立大学中期日程試験日のため、入構規制となります。

＜公立大学中期日程試験の合格者＞
２０２７年3月２２日（月）～3月２７日（土）
手続書類の提出は、「郵送」又は「持参」により行ってください。
郵送：速達の簡易書留とし、入学手続期間内必着
持参：土日祝日を除く９時００分～１２時３０分及び１３時３０分～１７時００分
注：郵送又は持参のいずれの場合も、入学手続期間内に入学手続が完了しない場合は、入学辞退者として扱います。

（２）入学手続に必要なもの
①国公立大学入学確認票
②本学の受験票（又は合格通知書）
③入学手続案内で指示するもの
ア　誓約書（本学所定の用紙）
イ　学生調査票（本学所定の用紙）
ウ　住民票の写し（本籍・続柄の表示は、不問。マイナンバー（個人番号）の記載がないもの）
エ　出身高等学校の卒業証明書（卒業見込証明書ではありません。）。出願時に「２０２７年３月までに卒業見込み」で受験した者は、大学入学資格を証明する書類として、必ず期日までに提出してください。
※①及び②は、手続完了後に返却します。

（３）入学手続先
〒３７１-０８１６
群馬県前橋市上佐鳥町４６０番地１
前橋工科大学　学務課入試広報係（１号館１階事務局内）
TEL：０２７－２６５－７３６１（学務課入試広報係）

（４）入学手続上の注意事項
①合格者が、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取扱います。
②必要な書類が全て揃っていない場合は、受け付けませんので、書類の提出の際には十分確認をしてください。また、入学手続期間を過ぎて到着した場合も受け付けませんので、郵送の場合は、所要日数を十分に考慮して発送してください。
③入学料を振り込んだだけでは、入学手続を完了したことには、なりません。なお、入学料等の支払時は、別途、手数料がかかります。
④「卒業（修了）見込み」で出願した者が、２０２７年3月３１日までに卒業（修了）できなかった場合は、入学許可を取り消します。
⑤入学手続の完了後、やむを得ない理由で入学を辞退する場合は、直ちに本学に連絡し、２０２７年3月３１日【必着】までに所定の入学辞退届を提出してください。
⑥一度受付をした入学手続書類及び納入された入学料は、どのような理由があっても、返還しません。ただし、次のア又はイのいずれかに該当する場合は、入学料を返還しますので、入学手続期間の最終日までに、学務課入試広報係に問い合わせてください（振込手数料は、本人負担となります。）。
ア　二重に納入した場合
イ　入学料の納入後、入学手続をしなかった場合
入学手続書類を受理しなかった場合は、本学から入学料の返還手続の案内を行います。

Ⅵ-２．入学に係る経費

		金　　額	納入時期
入　学　料 （注６）		２８２，０００円	入学手続時
		１４１，０００円　［前橋市内居住者（注１）］	
諸経費	後　援　会　費	５０，０００円	入学前
	同　窓　会　費	２０，０００円	
	災害傷害保険料（注２）	４，６６０円	
	TOEIC受 験 料(注３)	３，１３０円　［１年次に受験］	
	学生自治会費	２１，０００円	入学時
授 業 料 （注４）（注５）（注６）		５３５，８００円　［年額］	４月及び１０月

※上記の金額は、２０２６年４月１日現在のものです。改定した場合は、改定後の額が適用されます。

（注１）「前橋市内居住者」とは、入学する者又は配偶者若しくは１親等の親族が、２０２７年４月１日において引き続き１年以上前橋市に住所を有している者（２０２６年４月１日から２０２７年４月１日までの間、前橋市に住民登録がある者）とします。「前橋市内居住者」として入学料を納入し、入学した者は、２０２７年４月１日以降に取得した前橋市の住民票の写し(２０２７年４月１日以降に転出した者は、住民票の除票)を提出していただきます。ただし、前橋市内居住者の条件を満たしていないことが判明した場合は、差額を納入していただきます。

（注２）災害傷害保険料は、学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険料（正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。また、他者にケガをさせたり、財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合は、改定時から新保険料が適用されます。）です。２０２７年３月３１日（水）までに払い込んでください。

（注３）後援会に加入した場合は、２，０００円の助成が受けられます。

（注４）授業料の納入については、前期及び後期の２期に分割し、前期分については４月末日までに、後期分については１０月末日までに、それぞれ年額の２分の１に相当する額を納入することになります。また、教科書の購入等のために、別途費用が必要となります。

（注５）次の全ての要件を満たす方は、本学の予算の範囲内において選考を行い、「前橋市出身入学者特待生」として、１年次の１年間の授業料が半額となります。

①「入学する者又はその配偶者若しくは１親等の親族が２０２７年４月１日において引き続き１年以上前橋市に住所を有している場合の当該入学者」の適用を受けて入学した２０２７年４月以降の学部生

②大学入学共通テストにおける次の科目の各得点が全て全国平均点以上（得点調整が行われた場合は、得点調整後の得点とする。）

「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」、「英語（リーディング）」、「英語（リスニング）」、『「物理」、「化学」、「生物」から１科目（高得点のものを採用）』

（注６）大学等における修学の支援に関する法律に基づき、支援の対象となる学生に対して授業料及び入学料の減免措置を行います。手続等の詳細については、合格者にお知らせします。

Ⅶ　その他

Ⅶ-１．個人情報の取扱い

本学では、提出された書類及び入学試験の実施によって取得した志願者の個人情報については、関係法令を順守し、次の目的以外には利用しませんので、あらかじめご了承ください。

（１）入学者の選抜、合格者発表及び入学手続業務を行うために利用します。

（２）国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、受験者の氏名、本学個別学力検査の受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続等に関する個人情報が独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

（3）入学者の個人情報は、教務関係、学生支援関係及び授業料徴収業務関係の業務を行うために利用します。また、本学関連団体である前橋工科大学後援会、前橋工科大学同窓会及び前橋工科大学学生自治会において、各団体の運営に必要な範囲内で利用します。
なお、本学が上記の業務を行うに当たり、一部の業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者に委託することがあります。
（4）入学者選抜に用いた試験成績等の情報は、教務関係及び学生支援関係の業務並びに今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために、学内でのみ利用します。

Ⅶ-２．ノート型パソコンの必携化について

本学では、高度情報化社会における情報通信技術等の修得や、ICT を活用したアクティブラーニングの推進、学修環境の充実を目的として、ノート型パソコン必携化制度を実施しています。これにより、本学に入学される方は、入学までに各自でパソコンを準備していただくことになります。なお、準備していただくノート型パソコンの推奨仕様は、後日、本学ホームページでお知らせします。

試験当日の所持品チェックリスト

①	２０２７年度前橋工科大学受験票	
②	大学入学共通テスト受験票	
③	鉛筆（黒「ＨＢ」「Ｂ」）又は シャープペンシル（黒「ＨＢ」「Ｂ」）	
④	消しゴム	
⑤	鉛筆削り	
⑥	時計（時計機能のみのもの）	

各試験会場の案内図

※各会場、近隣で他大学も入学試験を実施している場合がありますので、試験会場を間違えないよう、注意してください。

1 前橋試験会場
前橋工科大学【前期日程、公立大学中期日程】
群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1

交通
JR　前橋駅から
・バス(前橋工科大前下車)、タクシーで約 10 分
・徒歩で約 45 分

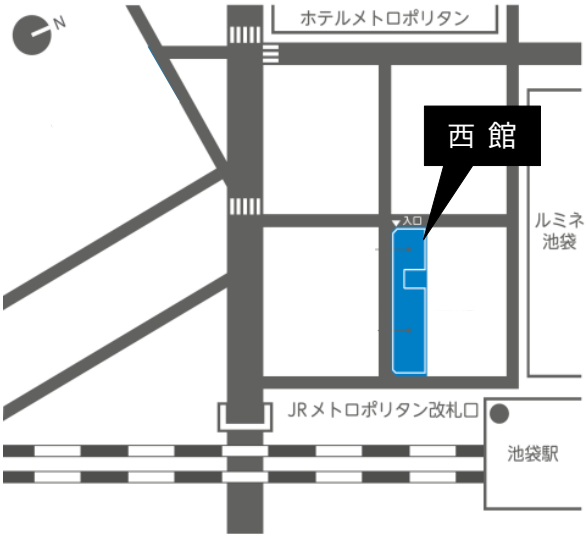
※緊急時等の連絡先は、前橋工科大学へ(☎027-265-0111)



2 東京試験会場
河合塾　池袋校西館 【前期日程のみ】
東京都豊島区西池袋1丁目3−12

交通
JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ丸ノ内線・有楽町線・副都心線池袋駅下車 メトロポリタン改札口から徒歩1分

※緊急時等の連絡先は、前橋工科大学へ(☎027-265-0111)



3 名古屋試験会場
河合塾　名駅校 【前期日程のみ】
愛知県名古屋市中村区椿町1―12

交通
JR　名古屋太閤通口から徒歩 3 分
名鉄名古屋駅・近鉄名古屋駅・地下鉄名古屋駅から徒歩6分

※緊急時等の連絡先は、前橋工科大学へ(☎027-265-0111)

